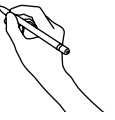


せと 市議会だより

令和5年9月定例会

106号

令和5年11月号



特集 P2-4 令和4年度決算審査

財政状況や税金の使われ方について審査しました



ありがとう古瀬戸小学校



◆第62号議案 旧古瀬戸小学校解体工事請負契約の締結について

古瀬戸小学校は令和2年3月、にじの丘学園の開校に伴い、80余年の歴史に幕を下ろしました。令和5年8月13日には卒業生や関係者が一堂に会してお別れ会が盛大に執り行われました。今後、旧古瀬戸小学校の跡地がどのように生まれ変わるのかお伝えします。

詳細はP.11



決算の総括、財政の健全性などについて

Q 実質収支比率(※)について3%~5%が望ましいと言われているが、令和4年度の瀬戸市の状況はどのようにみているのか伺う。

A 実質収支比率は7.8%であるが、自治体の財政規模や当該年度の景況等によってどの程度が適当かは一概に言えなくなっていると考えている。

Q 臨時財政対策債(以下「臨財債」)と普通交付税について、臨財債は、国が絞っていく方向であるが、令和4年度の臨財債と普通交付税合計約40億8,358万円で、令和2年度の合計36億7,088万円から増えているが、どのように分析しているのか伺う。

A 臨財債が減った分、普通交付税で交付されている。臨財債についても、償還義務のある借金の一つであると認識し、可能な限り臨財債にたよらない財政運営をしていくことが望ましいと考えている。

Q 令和4年度一般会計歳入決算額は約469億円としているが、令和4年度当初の一般会計歳入予算額は約401億円であり、コロナ感染症対策の約16億円を引いても約53億円もの違いがあるが、予算をどのように見込んでいたのか伺う。

A コロナ感染症対策以外に、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金など、当初想定していなかった事業等があったためそのような違いが生じた。

※実質収支比率とは、実質収支(決算剰余金。歳入総額-歳出総額-翌年度に繰り越すべき財源)が標準財政規模(地方公共団体の標準的な状態で通常収入されると見込まれる経常的な一般財源の大きさ)に対しどれだけの割合かを示したものである。正の場合は黒字、負の場合は赤字を示す。



予算決算委員会全体会(9月5日)

真に効果のある障害者施策を8つの分野に分けて実施

事業内容 障害者福祉の推進という視点で8分野27項目の施策を実施し、その中のひとつとして、災害時の非常食を備蓄した。

議会の視点 新たな取り組みは十分に機能しているか。

Q 障害者用の災害時備蓄食料はどこにどれだけ、どのような食料が備蓄されたのか。

A 瀬戸市民公園内の倉庫に、調理が不要で食べやすいリゾットを450食分(150人3日分)備蓄している。



倉庫内の様子

令和4年度から「広報せと」の発行を月2回から1回に

事業内容 市民への重要な情報提供ツールとしての「広報せと」を費用対効果の視点も踏まえあり方を見直した。

議会の視点 住民への広報や周知に問題はないか。

Q 月1回の発行となったことに伴う評価は。

A 原稿の文字量を調整し、内容のスリム化、簡潔化を図ったことで「見やすくなった」との声が寄せられていることは評価できると考える。若い世代には紙媒体からホームページなどでの情報取得に移行できるよう働きかけている。予算は約1,500万円削減できた。



総務生活分科会

総務生活分科会

旧祖母懐小学校跡地の有効活用について検討

事業内容 瀬戸市の中心市街地にある旧祖母懐小学校の跡地を住宅地などとして民間に払い下げ、人口流入、活性化を図る。

議会の視点 公共施設の再生整備は順調に進んでいるか。

Q 旧祖母懐小学校の跡地活用の進捗状況は。

A 令和4年度は宅地分譲の入札を行ったが、応札がなく現在売却方法を検討している。事業者ヒアリングやアンケートでは宅地需要はあることは判明しており、早期売却を目指している。



現在の旧祖母懐小学校跡地

総務生活分科会

ふるさと納税制度を活用し、本市事業の拡大を図る

事業内容 本市で展開する各種施策を紹介し、それに充てる財源となる寄付金を募りながら本市の魅力を発信するシティプロモーションのひとつとしての取り組み。

議会の視点 ふるさと納税は有効に機能しているか。

Q 令和4年度は本市への寄付額より、他市町へ流出する寄付額が多かった。課題はどこにあるか。

A ふるさと納税の本来の趣旨と異なっている部分があり、国の制度が今後どのように変わっていくのか注視して取り組んでいく。



返礼品の一例

菱野団地学校再編にかかる八幡小校舎の劣化度調査を実施

事業内容 菱野団地の3小学校を八幡小学校に統合するにあたって、長寿命化のために必要な校舎の劣化度調査を行った。

議会の視点 学校再編に向けて、必要不可欠な調査。結果によっては計画に大きく影響する。

Q 菱野団地の学校適正配置について、長寿命化のために必要な躯体の調査ということだが、調査結果について伺う。

A 劣化度調査は、コンクリートや鉄筋の劣化具合、外壁や屋根、サッシの防水状況などを調べるもの。いずれも保全工事を行えば、長期に使用できる建物であるとの結果であった。



調査の様子

厚生文教分科会

オアシス21の取り組みをはじめ、不登校支援を実施

事業内容 適応指導推進は、不登校児童生徒の相談・指導を行うことにより、社会的自立に資することを目的として、心理相談員やスクールカウンセラー、指導員等を活用して児童生徒一人ひとりに寄り添った支援を行うもの。

議会の視点 不登校児童生徒に対して、本市の支援策の状況は。

Q 適応指導推進について、令和4年度までのオアシス21の取り組みを踏まえて、決算の数字からどのような効果があったか。

A 不登校児童生徒の数は増加しており、社会的自立と学校復帰の受け皿として、学校ではない場所であるオアシス21の活動意義は大きい。近年は各学校において、学級集団アセスメント調査などを活用して不登校の未然防止に努めている。



活動の様子

総務生活分科会

厚生文教分科会

介護認定に時間がかかっている?!

事業内容 認定調査とは、要介護・要支援認定の申請書が提出されると、市が認定調査員を訪問調査に派遣し、本人や家族に聞き取りを行うこと。その後、介護認定審査会を経て、介護認定がされる。

議会の視点 被保険者のためには、申請から調査、認定までスムーズに行われることが望まれる。

Q 介護認定は申請から原則30日が基本だが、現在は2か月以上かかっている場合がある。どのような理由で遅れているのか。

A 認定調査件数が年々増えているにも関わらず、認定調査員が不足しているのが原因。今後は予算確保に努めるとともに、看護師・介護士などの経歴のある職員を採用し長期雇用に努める。



厚生文教分科会

公園の機能を発揮させ、市民が安全かつ快適に利用できるように

事業内容 公園施設の補修・改修を行い、施設の長寿命化を図った。除草、樹木の選定・伐採を行い、公園の安全確保及び環境の維持に努めた。

議会の視点 公園の適切な整備、管理が行われているか。

Q 公園の有効活用、魅力向上、利用者のサービス向上には民間活力の活用が考えられるが、運営手法の検討等、進展状況について伺う。

A 情報収集に努めているところであり、民間活力の導入等、具体的施策の取り組みについて、引き続き検討している。



ききょう公園

都市活力分科会

穴田曉企業団地や周辺施設へのアクセス道路の渋滞緩和

事業内容 穴田曉企業団地にアクセスする主要な道路である中水野中線の渋滞緩和施策検討に業務委託を行った。

議会の視点 現況の詳細な交通流動調査の状況は。

Q 上水野町交差点の渋滞対策について、新たに企業が稼働することにより更なる渋滞が予測される。また、県道との交差点でもあり、どのような対策を考えているのか。

A 令和4年度の現況調査をもとに今年度交通解析を行う。対策案を取りまとめ、その対策案をもとに、県道の管理者である愛知県を含め関係する管理者と協議を実施する。



上水野町交差点付近の様子

都市活力分科会

加藤民吉の偉業を称える顕彰事業

事業内容 磁祖民吉の認知度を高めるとともに、民吉をめぐる瀬戸の貴重な遺産に触れ、その精神を受け継いで新たな価値を創造する人材育成につなげていく。

議会の視点 民吉ゆかりの地方自治体との交流は。

Q 民吉ゆかりの地方自治体等の交流回数が目標を上回り8回となっているが、交流内容について伺う。

A 天草市における本市の学芸員による講演会2回、天草市の学芸員を招いての民吉フォーラム、民吉の足跡を辿る研修、子ども陶芸展での天草市の紹介、民吉の真実展への天草市からの出展等で交流回数が増えたもの。



東向寺(天草市の民吉ゆかりの寺)

都市活力分科会

9月定例会の主な議案概要と審査内容

第52号議案 瀬戸市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について

概要 マイナンバーカードの機能の一部をスマートフォンに持たせ、カード無しで証明書の交付がコンビニで受けられるようにするもの。

Q 改正の前と後では操作にどのような変更があるのか伺う。

A 現在はコンビニ交付の際、多機能端末機にマイナンバーカードを設置して暗証番号を入力する形だが、カードの機能をスマートフォンに持たせることで、スマートフォンがあればカード無しでも証明書の交付が受けられるようになる。(年内実施予定)



市役所内の多機能端末機

第53号議案 瀬戸市火災予防条例の一部改正について

概要 リチウムイオン蓄電池の普及や蓄電池容量の大容量化などに対応するため、蓄電池設備の安全基準を改正するもの。

Q 個人宅に蓄電池設備を設置する場合、改正によって具体的にどのような変更があり、蓄電池設備の普及にどのように影響するのか伺う。

A 20キロワット時以下で一定の条件を満たす蓄電池設備は、規制の対象外となる。これにより、蓄電池容量の大きいものが普及するとともに、太陽光発電設備と併せ、災害時の備えとして蓄電池設備を設置する住宅が増えるものと考えている。

虚礼廃止について

議員が、年賀状などの時候の挨拶状を出すことは、公職選挙法により禁止されています。ご理解とご協力をお願いします。
瀬戸市議会

第59号議案 令和5年度瀬戸市一般会計補正予算(第6号)

●「ラーケーションの日」実施に向けて

事業内容 子どもが保護者等とともに、校外(家庭や地域)で行う主体的・体験的な学びを実行する愛知県が創設した「ラーケーションの日」を実施するため、愛知県教育委員会からの委託を受け、校務支援員、非常勤講師の配置等必要となる費用を計上するもの。

Q ラーケーションの日を活用した場合、学習の遅れの心配はないか。また、取得できない家庭への配慮は。

A 本年度は10月2日から2日取得でき、次年度以降は年3日取得できるが、ラーケーションの日を取得することで受けられない授業の内容は、家庭での自習をお願いしている。取得できない家庭へ配慮しつつ取り組みを進めていく。

●災害の発生を予防

事業内容 法面の補修等に係る設計業務委託や路肩の修繕工事に係る費用(2,190万円)を計上するもの。

Q 法面の補修等に係る設計業務委託や路肩の修繕工事に係る費用と聞いているが、具体的な内容を伺う。

A 6月2日の大雨によって各地で被害が生じ、復旧対策を行うもので、上品野三国山線の法面对策、大六川沿いの台六1号線の法面对策、曾野町の路肩対策及び山路海上線の冠水対策の4か所の事業を予定している。



山路海上線冠水の様子

9月定例会議案等審議結果

■市長提出議案

議案番号	件名	採決結果
第51号議案	瀬戸市市税条例の一部改正について	可決(全会一致)
第52号議案	瀬戸市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について	可決(賛成多数)
第53号議案	瀬戸市火災予防条例の一部改正について	可決(全会一致)
第54号議案	瀬戸市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決(全会一致)
第55号議案	瀬戸市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決(全会一致)
第56号議案	瀬戸市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決(全会一致)
第57号議案	瀬戸市附属機関設置条例の一部改正について	可決(全会一致)
第58号議案	市道路線の認定について	可決(全会一致)
第59号議案	令和5年度瀬戸市一般会計補正予算(第6号)	可決(賛成多数)
第60号議案	令和5年度瀬戸市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全会一致)
第61号議案	令和5年度瀬戸市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全会一致)
第62号議案	旧古瀬戸小学校解体工事請負契約の締結について	可決(全会一致)
認定第1号	令和4年度瀬戸市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定(賛成多数)
認定第2号	令和4年度瀬戸市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(賛成多数)
認定第3号	令和4年度瀬戸市春雨墓苑事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(全会一致)
認定第4号	令和4年度瀬戸市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(賛成多数)
認定第5号	令和4年度瀬戸市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(賛成多数)
認定第6号	令和4年度瀬戸市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	可決及び認定(全会一致)
認定第7号	令和4年度瀬戸市下水道事業会計決算の認定について	認定(全会一致)
同意第17号	瀬戸市教育委員会委員の任命について(大脇 忠氏)	同意(全会一致)
同意第18号	瀬戸市教育委員会委員の任命について(安井 友香氏)	同意(全会一致)

■議員提出議案

議案番号	件名	採決結果
第1号議案	瀬戸市議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について	可決(賛成多数)

今年は
いいもんせともん
議会 です!

3年ぶりの本格実施となりました「せともの祭」等をPRするために、9月定例会を「いいもんせともん議会」と銘打って開催いたしました。議員と市長をはじめ、出席した市職員全員がおそろいのはつぴを着て臨みました。



左記議案のうち賛否の分かれたもののみ記載

各議員の議案に対する賛否の状況

議案番号	自民新政クラブ										公明党 瀬戸市議団		日本共産党 瀬戸市議団		無党派 無会派		無党派 無会派		無党派 無会派		無党派 無会派		無党派 無会派			
	黒柳知世	颯田季央	山内精一郎	朝井賢次	高島淳	西本潤	小澤勝	宮園伸仁	富田宗一	柴田利勝	三木雪実	三宅聡	池田信子	長江秀幸	原誠	新井亜由美	浅井寿美	松原大介	馬嶋みゆき	石神栄治	中川昌也	高桑茂樹	戸田由久	白井淳	長江公夫	伊藤賢二
第52号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	-	○	○	○
第59号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	-	○	○	○
認定第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	-	×	○	○
認定第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	-	○	○	○
認定第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	-	○	○	○
認定第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議員提出第1号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	-	○	○	○

【○】は賛成(採択) 【×】は反対(不採択) 議員名は左より会派ごとの議席順に記載。
柴田利勝議員は議長職のため、採決には加わりません。また、戸田由久議員は欠席のため、採決には加わっておりません。

一般質問

市の行政課題などについて15人の議員が考え方や内容を質問しました。市議の質問質問を行った順に、一人ずつ紹介します。

Q 市議の質問
A 市の回答

自治会・町内会等を持続可能なものにするために



Q 回覧板等を従来の紙媒体ではなくスマートフォン等を利用して見られるようにする電子回覧板とし、会議・打合せも実際に集まらず開催し、災害時の安否確認もオンラインで行っていくいわゆるデジタル化についての市の見解を伺う。

A 回覧板の電子化やオンライン会議の実施等のデジタル化は、自治会運営をするうえで情報伝達や感染症予防対策、防災対策等有効な手段の一つと認識している。しかし、現状ではスマートフォン等の操作にまだ不慣れな方も多く認識している。(まちづくり協働課)

保育料に対する経済的支援および待機児童について



Q 本市では、保育料を毎月5万円以上負担している方、兄弟の年齢差により多子減免が適用されていない方がいる中、子育て支援先進市では、保育料無償や2人目無償の取組がされているが、本市での保育料減額や無償化に対する見解を伺う。また、令和5年度隠れ待機児童101名、待機児童2名だが、どのように対応を検討しているのか伺う。

A 保育料の減額や2人目無償化は、財源の確保や保育体制の整備などが課題である。待機児童については、保育ニーズを踏まえ、保育士の確保や保育体制の整備について総合的に検討していきたい。(保育課)



オオサンショウウオの固有種の保護と環境の保全について



西本 潤
新緑クラブ
自民



Q 瀬戸オオサンショウウオ会の方々による保全活動や啓発活動をより多くの市民に周知し自然環境の保護活動に対する関心を深めていただくことが重要であると考えているが、どの様に周知していくのか?また、最近になってチュウゴクオオサンショウウオとの交雑種が確認されているが、どの様にして固有種の保護を行っていくのか伺う。

A 市民への周知は、人工巣穴の清掃や夜間調査観察会の開催を、広報せとやホームページを通じて行っている。固有種の保護はDNA解析をすすめ交雑個体を判別し隔離する対応を現在行っている。(文化課)

瀬戸にあるものを活かす～ごみ減量意識編～



松原 大介
無会派



Q 本市のプラスチック分別は、容器包装類は資源物袋に、ストローや歯ブラシなどの製品プラスチックは燃えるごみ袋に分けることになっている。市民に対するわかりやすさ、分別の簡易さに着目したとき、これらを一緒に資源物袋に入れるプラスチック一括回収は、特に分別が難しいと感じている市民に対して、合理的な手法だと考えるが見解を伺う。

A プラスチック一括回収は、製品と容器包装を分別する手間がなくなり、市民の皆様の負担感の減少に寄与するが、一方で回収後に分別する作業が必要となり、中間処理に掛かるコストが増加する課題がある。(環境課)

健康寿命を延ばすための本市における歯と口腔の健康づくり推進について



富田 宗一
新緑クラブ
自民



Q 歯科疾患予防が必要であり、生涯に渡って歯科健診を行うことが大事なことではないかと考える。本市の歯科健診の促進及び歯科保健指導の充実のための現状と課題を伺う。

A 歯科健診については、受診率が増加傾向にあり、歯科保健指導については、保育園や妊産婦等を対象とした歯科健康教室を通じて実施している。課題としては、「歯周疾患や口腔機能の低下が、全身の健康状態への影響が大きいと言われていること」について、市民の理解を深め、健診等につなげていくことが課題であると考えている。(健康課)

公共施設バリアフリー化ですべての人が安心して出かけられる街に



原 誠
瀬戸市議団
日本共産党



Q 中水野駅・瀬戸口駅のバリアフリー化は必要ではないか。また、瀬戸口駅北側の階段は非常に急であり、バリアフリー化は必要ではないか。

A 両駅とも新型コロナ感染拡大以前の日平均利用者数ではバリアフリー法の整備対象となるためバリアフリー化は必要だと認識している。現時点では具体的な計画には至っていないが鉄道事業者と意見交換は行っている。また、子育て世代や高齢者・障害者等の移動の円滑化を促進するため、鉄道駅を中心としたバリアフリー化は必要だと認識している。(都市計画課)

子どもの権利「学び」を保障する就学援助制度について



新井 亜由美
瀬戸市議団
日本共産党



Q 経済的な理由により給食費や修学旅行費、新入学学用品費など、学校で必要な費用の一部が支給される就学援助制度について、制度内容や対象かどうかなど、問い合わせる場合の窓口を伺う。また案内チラシの説明にある「経済的な理由によって就学が困難」という表現を変更することで、制度利用に対する心理的な壁を取り除けると考えるがどうか。

A 制度についての問い合わせは、学校又は市役所の学校教育課となっている。案内文に掲載されている文章の中で「就学が困難」という文言については、より分かりやすくなるよう検討を進めていく。(学校教育課)

軽規格の緊急自動車(軽救急車・軽消防車等)の導入について



池田 信子
瀬戸市議団
公明党



Q 軽規格の救急車を導入した市町村では、狭い道路も通行可能となり搬送時間が短縮し傷病者の容体悪化防止等に効果を発揮し救命率がアップしている。整備指針の残り1台は軽救急車の導入に期待したい。軽救急車の導入のメリット・デメリットをどう考えるのか。

A 軽救急車を導入するメリットは高規格救急車が進入できない多数の世帯が居住する地域では現場近くまで車両で近づけるため傷病者を車内へ収容する時間が短縮される。デメリットは車内スペースが狭く高規格救急車と同等の資機材の積載が困難なため、重篤な傷病者に対する高度な処置が難しくなる。(総務課)

本市における熱中症対策の推進について



長江 秀幸
瀬戸市議団
公明党



Q 高齢者の方々に、熱中症予防のための行動を意識していただくことも重要である。高齢者の方々は、暑さやのどの渇きに対して敏感ではなくなっているケースもある。高齢者の効果的な熱中症予防を進めるために介護や地域保健部門の関係者と連携し、どのような取り組みを進めているのか伺う。

A 介護予防教室や保健推進員による地域での保健推進活動で、参加された方々に注意喚起の声掛けを行っている。特に配慮が必要な高齢者の方々に、地域包括支援センターの職員や民生委員による見回りや見守り活動を行っている。(高齢者福祉課)

第6次総合計画の進捗と瀬戸市の財政見通しについて



山内 精一郎
新緑クラブ
自民



Q 第6次瀬戸市総合計画は、瀬戸市の将来像「住みたいまち 誇れるまち 新しい瀬戸」の実現を目指し策定された、市政における最上位の方針である。7年目を迎え、現在の進捗状況と計画を支える財政の見通しについて、市の見解を伺う。

A 総合計画の進捗状況は、各種施策の推進により「瀬戸市人口ビジョン」における将来人口推計と同程度の緩やかな人口減少となっており、成果に繋がっている。瀬戸市の財政見通しは、財政基盤の強化に繋がる施策を進めることにより、持続可能な財政運営に努めていく。(政策推進課)

負担を減らし、誰もが利用しやすい介護保険制度に



浅井 寿美
瀬戸市議会
日本共産党

Q 今期の介護保険料は、前期末の基金残高9億1,800万円から4億円取り崩し、月額305円引き下げることができた。基金の原資は65歳以上の方が払った保険料。国も「本来は当該基金が造成された期における被保険者(高齢者)に還元されるもの」としている。来年度からの保険料は、今期末の基金約12億1,500万円を全額取り崩し、保険料の引き下げを行うべきと考えるが見解を伺う。

A 策定中の第9期瀬戸市高齢者総合計画において、保険料の基準額を決めるが、この策定プロセスの中で、準備基金の取り崩しについても慎重に判断する。(高齢者福祉課)

地域の住環境を守るごみ屋敷条例の制定は急務ではないか



中川 昌也
無党派

Q ごみ屋敷問題解決の選択肢として、立ち入り調査や指導、勧告命令などの措置を規定し、応じない場合は、罰則規定を盛り込んだごみ屋敷条例制定が有効だと考えるが、条例制定の可能性を伺う。また、ごみ屋敷条例の制定が無い状況で、解決できているのか伺う。

A 条例の制定にあたっては、ごみと財産の見極めや行政代執行を行った場合の公費負担、罰則規定の可否など、検討すべきことが多く、慎重に判断すべきである。また、ごみ屋敷条例がない状況で、ごみ屋敷問題は一部解決できている。今後、先進市の条例を調査研究していく。(環境課)

新水道ビジョンの自己水源の浄水場は保全すべき



白井 淳
無党派

Q 馬ヶ城浄水場は、環境省の馬ヶ城湿地群の重要湿地に認定され、愛知県湿地保全リストの候補地でもあり、そういった観点も視野に入れているのか。また、川本市長は、自己水源地を守る公約を掲げているが、どのように公約を守るのか伺う。

A 馬ヶ城浄水場は、周辺地域の環境に関する法的規制に留意し、令和6年度に今後のあり方を検討していく。公約では、自己水を守ることを掲げているが、安全で安心な水を供給し続けることを前提に、安全性や経済性だけでなく、災害対応や環境への配慮など様々な観点から自己水のあり方の検討を行っていく。(水道課)

深川発！子育て支援の輪を広げる深川小学校跡地活用事業について



幡田 季央
新政クラブ
自民

Q 深川小学校跡地の活用が、子育て世代のニーズにマッチする場所となり、瀬戸市の新たなシンボルとなるように良い流れができる事を願っている。そのためには、地域住民の理解、来場するための環境整備、持続可能な収益構造が必要だが、どのような予定であるのか市の考えを伺う。

A 深川地域の活性化や市全体の魅力向上につながる新たなまちづくりの契機とし、地域住民と意見交換を重ねていく。民間活力の導入可能性も踏まえた上で、市内外から来客してもらえる子育て支援施設等の集約を核とした、多世代交流の場を想定している。(政策推進課)

風水害対策について



馬嶋 みゆき
無党派

Q 全戸配布した「防災ガイドマップ」に加え、地域別のより詳細な土砂災害・洪水ハザードマップを指定地域に配布すべきと考える。また、ハザードマップや地域作成の防災マップ、災害リスクや避難のタイミング等の防災資料を活用し、対象区域で避難経路想定や訓練の推進が必要と考えるが見解を伺う。

A 避難行動に支援が必要な方が安全に避難できるよう個別避難計画の策定を順次進めている。その際、土砂災害ハザードマップ及び洪水ハザードマップを配布し、地震・風水害を想定した避難経路を本人と関係者などで決めていく。(危機管理課)

ありがとう古瀬戸小学校～最後の登校日～

令和5年8月13日に最後の登校日としてお別れ会が執り行われました。

準備には実行委員会含め地元住民の方が一丸となって参加し、感謝の思いを込めて校舎をきれいに清掃しました。

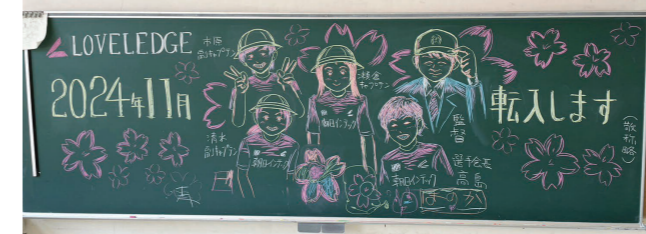
地域に愛され、思い出の詰まった校舎とのお別れ会には多くの人が集まり、校内を散策しながら、古瀬戸吹奏楽団による校歌の演奏も行われました。

詳細は「ありがとう古瀬戸小学校実行委員会」のインスタグラムをご覧ください。

今後の跡地はどうなる？

9月には校舎の取り壊しがおこなわれ、プレナスなでしこリーグ1部で活躍する「朝日インテック・ラブリッジ名古屋」の練習グラウンドとして整備されます。

サッカー教室の開催をはじめとしたスポーツ振興や、地域住民の皆様との交流など、活気ある街づくりの発信地となります。



イメージ図

広報部会ニュース

市民の方どなたでも参加いただけます!!

「せとまちトーク」～市民と議会の意見交換会～を開催します!!

3つのテーマに分かれてグループディスカッションを行います。関心のあるテーマについて、みなさんが考える課題の原因とその解決策やアイデアなどをお聞かせください。みなさんのご参加をお待ちしております。

テーマ① 便利だと感じる市役所窓口とは

テーマ② 学校のために地域ができること

テーマ③ 魅力ある観光都市にするためには

日程：令和5年11月1日(水)～8日(水)
時間：昼の部 午後2時～3時30分
夜の部 午後7時～8時30分
場所：市内8会場 (各会場により時間は異なります)

昼の部 午後2時～3時30分
11/1(水) 長根公民館
11/6(月) 水野地域交流センター
11/7(火) 下品野地域交流センター
11/8(水) 深川公民館

夜の部初開催!

夜の部 午後7時～8時30分
11/1(水) 山口公民館
11/2(木) 東明公民館
11/6(月) 原山公民館、水南自治会館



テレビ番組

TV

グリーンシティケーブルテレビ

「こんにちは!瀬戸市議会です。」(地上デジタル121ch)

9月定例会の番組内容は「本会議傍聴の仕方・注意点」や「予算決算準備会」についてお送りしました。

12月定例会放送予定 令和6年1月22日(月)~28日(日)

放送時間 7:10~、9:10~、12:10~、14:10~
18:10~、22:10~

番組がご覧になれます。



ラジオ番組

RADIO

RADIO SANQ 「せとまちラジオ」(FM84.5MHz)

放送の前半は定例会のお知らせ、後半では「私のマイブーム」について議員が語るコーナーもあります。どんな思いが語られるのかどうぞお楽しみに。

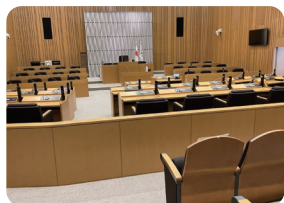
12月定例会放送予定 11月28日(火)、12月26日(火)

放送時間 9:20~、12:30~、18:00~

RADIO SANQホームページから過去の放送分もお聴きいただけます。



傍聴



傍聴をご希望の方は、北庁舎5階の議会事務局にお越しください。

インターネット中継



会議の様子をライブ配信(生中継)・録画配信しています。ホームページからアクセスしてください。

スマートフォン・タブレットでも!



12月定例会開催予定

- 11月30日(木) 本会議(開会・議案上程・説明)
- 12月 5日(火) 本会議(一般質問)
- 6日(水) 本会議(一般質問・議案質疑・委員会付託)
- 7日(木) 本会議(一般質問・議案質疑・委員会付託)、予算決算委員会
- 11日(月) 総務生活委員会、
予算決算委員会総務生活分科会
- 12日(火) 厚生文教委員会、
予算決算委員会厚生文教分科会
- 13日(水) 都市活力委員会、
予算決算委員会都市活力分科会
- 18日(月) 予算決算委員会、議会運営委員会
- 20日(水) 議会運営委員会
- 21日(木) 本会議(委員長報告・討論・議案採決・閉会)、議会運営委員会

※いずれも、午前10時からの開催予定ですが、日程が変更される場合があります。
※会議の様子は、瀬戸市議会のホームページからインターネット中継でご覧いただくことができます。
※請願・陳情の提出締切は、11月17日(金)の午後5時です。

編集後記

- 今回の特集は令和4年度決算の審査内容です。
- 令和4年度市民のみなさんの税金や国の補助金などが、どのように使われたのか、無駄はなかったかななどを議員全員がそれぞれの予算決算委員会分科会で審査しました。また、決算の総括、財政の健全性などを審査する全体会の質疑を今回初めて掲載しましたのでご高覧いただければ幸いです。
- 11月はせとまちトークを開催します。たくさんのご来場をお待ちしております。
-
-

ご意見・ご感想はこちらから



問合せ先/議会事務局 議事課 ☎88・2740
E-mail▶giji@city.seto.lg.jp

編集・発行/瀬戸市議会 〒489-8701 瀬戸市追分町64-1

瀬戸市議会ホームページ
SNS、YouTubeをチェック!



アプリでも議会だよりをチェック!



Catalog Pocket マチイロ